

授 業 計 画

科目名： <div style="text-align: center;">ビジネス文書</div>	授業種別： <div style="text-align: center;"> 講義 ・ 演習 ・ 実習 </div>	授業担当者： <div style="text-align: center;">宮川登美子</div>
---	--	--

授業回数： <div style="text-align: center;">32 回</div>	時間数（単位数）：1 回 90 分 <div style="text-align: center;">48 時間（2 単位）</div>	配当学年・時期： <div style="text-align: center;">1 年 前期 後期</div>	<div style="text-align: center;"> 必修 ・ 選択必修 </div>
--	---	--	--

[授業の到達目標]

- ① 実務に役立つ文書作成技能について、知識と技能との全般を身に付けることにより、文書を正しく理解し、作成することができる。ビジネス文書を始めとしたビジネス能力の向上を図り、キャリアビジョンを構築できるようになる。
- ② ビジネス能力検定ジョブパス 2 級を取得する。
- ③ ビジネス文書検定 2 級を取得する。

[授業の概要]

ビジネス能力検定ジョブパス、ビジネス文書検定の試験内容を通して、ビジネス文書を始めとした知識と技能を習得する。

[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]

1	キャリアと仕事へのアプローチ（見だしなみ、挨拶、お辞儀）	講義
2	指示の受け方と報告、連絡、相談	講義
3	話し方と聞き方、敬語	講義
4	電話応対	演習
5	来客応対と訪問マナー、会食マナー	演習
6	冠婚葬祭のマナー	講義
7	スケジュール管理、効率のよい整理法	講義
8	ビジネス文書の基本	講義
9	統計データの作り方、読み方	講義
10	情報収集とメディアの活用、会社数字の読み方	講義
11	ビジネス能力検定ジョブパス 3 級過去問題演習	演習
12	文書表記技能～用字、用語、書式～①	講義
13	文書表記技能～用字、用語、書式～②	講義
14	文書表現技能～文章の書き方～①	講義
15	文書表現技能～文章の書き方～②	講義
16	文書実務技能～社内文書、社外文書、文書取扱～①	講義
17	文書実務技能～社内文書、社外文書、文書取扱～②	講義
18	企業と社会と個人の関わり	講義
19	会社活動の基本、顧客満足度、分業システム	講義
20	コンプライアンス、情報セキュリティ	講義
21	場に応じた会話の基本	講義
22	クレーム対応	講義
23	接客と営業の進め方	講義
24	ビジネス能力検定ジョブパス 2 級過去問題演習	演習
25	会議、プレゼンテーション	講義
26	チームワークと人のネットワーク	講義

27	業務の種類、非定型業務の性質と対応、計画立案	講義
28	さまざまな論理的思考（分析）の概念	講義
29	財務関係（損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書）、予算管理	講義
30	就業規則、勤務条件、労働法	講義
31	給与、社会保障制度、税金	講義
32	企業運営に関する法律知識、契約書、債権と債務、経済的機能と法律関係	講義

【使用テキスト・参考文献】

実教出版株式会社 要点と演習ビジネス能力検定【ジョブパス】3級

実教出版株式会社 要点と演習ビジネス能力検定【ジョブパス】2級

日本能率協会マネジメントセンター ビジネス能力検定ジョブパス3級公式試験問題集

日本能率協会マネジメントセンター ビジネス能力検定ジョブパス2級公式試験問題集

早稲田教育出版 ビジネス文書検定3級受検ガイド

早稲田教育出版 ビジネス文書検定1・2級受検ガイド

早稲田教育出版 ビジネス文書検定3級実問題集

早稲田教育出版 ビジネス文書検定1・2級実問題集

【単位認定の方法及び基準】

後期試験における結果

優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）

授 業 計 画

科目名： コミュニケーションⅡ		授業種別： 講義・演習・実習		授業担当者： 宮川登美子																																																	
授業回数： 16回	時間数（単位数）：1回 90分 24時間（1単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期		必修・選択必修																																																	
<p>[授業の到達目標]</p> <p>① 電話対応の知識を深め、社会常識や公の場にふさわしい態度（言葉遣いや話し方）を確実に身に付ける。</p> <p>② 状況に即応する機転や、相手に与える印象への配慮ができる。</p> <p>③ ビジネス電話検定実践級を取得する。</p> <p>[授業の概要]</p> <p>ビジネス電話検定実践級受検を通して、社会常識や公の場にふさわしい態度、コミュニケーション能力を確実に身に付ける。</p> <p>[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 80%;">ビジネス電話対応の確認、発声練習</td><td style="width: 15%;">講義</td></tr> <tr><td>2</td><td>インターンに向けた電話対応実践</td><td>演習</td></tr> <tr><td>3</td><td>状況に応じた電話対応実践①</td><td>演習</td></tr> <tr><td>4</td><td>状況に応じた電話対応実践②</td><td>演習</td></tr> <tr><td>5</td><td>状況に応じた電話対応実践③</td><td>演習</td></tr> <tr><td>6</td><td>状況に応じた電話対応実践④</td><td>演習</td></tr> <tr><td>7</td><td>状況に応じた電話対応実践⑤</td><td>演習</td></tr> <tr><td>8</td><td>状況に応じた電話対応実践⑥</td><td>演習</td></tr> <tr><td>9</td><td>ビジネス電話検定実践級過去問題実践①</td><td>演習</td></tr> <tr><td>10</td><td>ビジネス電話検定実践級過去問題実践②</td><td>演習</td></tr> <tr><td>11</td><td>ビジネス電話検定実践級過去問題実践③</td><td>演習</td></tr> <tr><td>12</td><td>ビジネス電話検定実践級過去問題実践④</td><td>演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑤</td><td>演習</td></tr> <tr><td>14</td><td>ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑥</td><td>演習</td></tr> <tr><td>15</td><td>ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑦</td><td>演習</td></tr> <tr><td>16</td><td>ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑧</td><td>演習</td></tr> </table> <p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>早稲田教育出版 ビジネス電話検定受検ガイド【知識 B・知識 A・実践級】</p> <p>早稲田教育出版 ビジネス電話実問題集【知識 B・知識 A・実践級】</p> <p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>前期試験における結果</p> <p>優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）</p>						1	ビジネス電話対応の確認、発声練習	講義	2	インターンに向けた電話対応実践	演習	3	状況に応じた電話対応実践①	演習	4	状況に応じた電話対応実践②	演習	5	状況に応じた電話対応実践③	演習	6	状況に応じた電話対応実践④	演習	7	状況に応じた電話対応実践⑤	演習	8	状況に応じた電話対応実践⑥	演習	9	ビジネス電話検定実践級過去問題実践①	演習	10	ビジネス電話検定実践級過去問題実践②	演習	11	ビジネス電話検定実践級過去問題実践③	演習	12	ビジネス電話検定実践級過去問題実践④	演習	13	ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑤	演習	14	ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑥	演習	15	ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑦	演習	16	ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑧	演習
1	ビジネス電話対応の確認、発声練習	講義																																																			
2	インターンに向けた電話対応実践	演習																																																			
3	状況に応じた電話対応実践①	演習																																																			
4	状況に応じた電話対応実践②	演習																																																			
5	状況に応じた電話対応実践③	演習																																																			
6	状況に応じた電話対応実践④	演習																																																			
7	状況に応じた電話対応実践⑤	演習																																																			
8	状況に応じた電話対応実践⑥	演習																																																			
9	ビジネス電話検定実践級過去問題実践①	演習																																																			
10	ビジネス電話検定実践級過去問題実践②	演習																																																			
11	ビジネス電話検定実践級過去問題実践③	演習																																																			
12	ビジネス電話検定実践級過去問題実践④	演習																																																			
13	ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑤	演習																																																			
14	ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑥	演習																																																			
15	ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑦	演習																																																			
16	ビジネス電話検定実践級過去問題実践⑧	演習																																																			

授 業 計 画

科目名： <p style="text-align: center;">ビジネス英語</p>	授業種別： <p style="text-align: center;">講義・演習・実習</p>	授業担当者： <p style="text-align: center;">宮川登美子</p>
---	--	--

授業回数： <p style="text-align: center;">32 回</p>	時間数（単位数）：1回 90分 <p style="text-align: center;">48 時間（2 単位）</p>	配当学年・時期： <p style="text-align: center;">1 年 前期・後期</p>	<p style="text-align: center;">必修・選択必修</p>
--	---	--	--

[授業の到達目標]

- ① 簡単な日常英会話能力を身に付けるため、英語を読む・書く・聞く・話す力を伸ばす。
- ② 各自の英語能力に合わせた実用英語技能検定を取得する。

[授業の概要]

実用英語技能検定受検を通し、簡単な英会話能力を身に付けるため、英語を読む・書く・聞く・話す力を個別に学習する。

[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]

1	実力テストと振り返り①	講義
2	実力テストと振り返り②	講義
3	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）①	演習
4	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）②	演習
5	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）③	演習
6	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）④	演習
7	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑤	演習
8	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑥	演習
9	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑦	演習
10	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑧	演習
11	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑨	演習
12	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑩	演習
13	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑪	演習
14	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑫	演習
15	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑬	演習
16	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑭	演習
17	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑮	演習
18	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑯	演習
19	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑰	演習
20	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑱	演習
21	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑲	演習
22	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）⑳	演習
23	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）㉑	演習
24	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）㉒	演習
25	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）㉓	演習
26	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）㉔	演習
27	実用英語技能検定 1 次試験過去問題演習（個別指導）㉕	演習

28	実用英語技能検定 2 次試験過去問題演習（個別指導）①	演習
29	実用英語技能検定 2 次試験過去問題演習（個別指導）②	演習
30	実用英語技能検定 2 次試験過去問題演習（個別指導）③	演習
31	実用英語技能検定 2 次試験過去問題演習（個別指導）④	演習
32	実用英語技能検定 2 次試験過去問題演習（個別指導）⑤	演習

[使用テキスト・参考文献]

旺文社 英検 2 級総合対策教本

旺文社 英検準 2 級総合対策教本

旺文社 英検 3 級総合対策教本

成美堂出版 英検 2 級過去 6 回問題集

成美堂出版 英検準 2 級過去 6 回問題集

成美堂出版 英検 3 級過去 6 回問題集

旺文社 英検 2 級暗記で合格

旺文社 英検準 2 級暗記で合格

旺文社 英検 3 級暗記で合格

[単位認定の方法及び基準]

前期・後期試験における結果

優：80 点以上 良：79～70 点 可：69～60 点 59 点以下（不可）

授 業 計 画

科目名： <p style="text-align: center;">硬筆</p>		授業種別： <p style="text-align: center;">講義・演習・実習</p>		授業担当者： <p style="text-align: center;">宮川登美子</p>	
授業回数： <p style="text-align: center;">16 回</p>	時間数（単位数）：1回 90分 <p style="text-align: center;">24 時間（1 単位）</p>	配当学年・時期： <p style="text-align: center;">1 年 前期・後期</p>		必修・選択必修	
[授業の到達目標]					
① 硬筆書写一般の技術および知識をもって書くことができる。					
② 漢字を正しく身に付ける。					
③ 各自の能力に合わせた日本漢字能力検定に挑戦する。					
[授業の概要]					
硬筆の演習を重ねることにより、文字を正しく丁寧に書くことを身に付ける。また、各自の能力に合わせた、日本漢字能力検定を取得する。					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	名前、住所、取得資格を正しく書く①、漢字検定対策①				演習
2	名前、住所、取得資格を正しく書く②、漢字検定対策②				演習
3	履歴書記入①、漢字検定対策③				演習
4	履歴書記入②、漢字検定対策④				演習
5	平易な漢字かな交じり文を縦に正しく整えて書く①、漢字検定対策⑤				演習
6	平易な漢字かな交じり文を縦に正しく整えて書く②、漢字検定対策⑥				演習
7	平易な漢字かな交じり文を横に正しく整えて書く①、漢字検定対策⑦				演習
8	平易な漢字かな交じり文を横に正しく整えて書く②、漢字検定対策⑧				演習
9	簡単な掲示文書を正しく整えて書く①、漢字検定対策⑨				演習
10	簡単な掲示文書を正しく整えて書く②、漢字検定対策⑩				演習
11	簡単な届け出文書を正しく整えて書く①、漢字検定対策⑪				演習
12	簡単な届け出文書を正しく整えて書く②、漢字検定対策⑫				演習
13	一定時間内に一定の字数の文章を誤りなく書くことができる①、漢字検定対策⑬				演習
14	一定時間内に一定の字数の文章を誤りなく書くことができる②、漢字検定対策⑭				演習
15	履歴書記入③、漢字検定対策⑮				演習
16	履歴書記入④、漢字検定対策⑯				演習
[使用テキスト・参考文献]					
一般財団法人 日本書写技能検定協会編 「硬筆書写技能検定」三級のドリル					
一般財団法人 日本書写技能検定協会 硬筆書写技能検定の手びきと問題集					
漢検 2級 過去問題集					
漢検 準2級 過去問題集					
漢検 3級 過去問題集					
[単位認定の方法及び基準]					
後期試験における結果					
優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）					

授 業 計 画

科目名： 総合講座Ⅰ	授業種別： 講義・演習・実習	授業担当者： 原田暁史
---------------	-------------------	----------------

授業回数： 32回	時間数（単位数）：1回 90分 48時間（2単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修・選択必修
--------------	------------------------------	----------------------	---------

[授業の到達目標]

- ①自治会活動を通して年間計画を立て合同で活動を行う
- ②学科に分かれての1、2年生の合同勉強会
- ③外部講師を招いての講義
- ④ボランティア活動

※年度によって内容が変更になる

[授業の概要]

自治会を中心とした活動の中で協調性、積極性、自主性を学ぶ。

[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]

1	前期自治会活動を決める	講義
2	1年生歓迎会準備	講義
3	1年生歓迎会	実習
4	虹ノ松原ボランティア活動	実習
5	合同勉強会	演習
6	スポーツ（体育館）	実習
7	合同勉強会	演習
8	資格試験対策勉強会	演習
9	合同勉強会	演習
10	学園祭についての話し合い、準備	講義
11	学園祭準備	実習
12	資格試験対策勉強会	講義
13	学園祭準備	実習
14	企業見学	実習
15	後期自治会活動を決める	講義
16	合同勉強会	演習
17	合同勉強会	演習
18	合同勉強会	演習
19	資格試験勉強会	演習
20	虹ノ松原ボランティア活動	実習
21	卒業研究発表会にむけて、資格試験対策	演習
22	卒業研究発表会にむけて、資格試験対策	演習
23	卒業研究発表会にむけて、資格試験対策	演習
24	卒業研究発表会にむけて、資格試験対策	演習
25	合同勉強会	演習
26	卒業式に向けて	講義
27	後期試験対策1	演習

28	後期試験対策 2	演習
29	後期試験対策 3	演習
30	後期試験対策	演習
31	卒業式に向けて、祝賀会計画 1	講義
32	卒業式に向けて、祝賀会計画 2	講義
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>特になし</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>前期・後期試験における結果</p> <p>優：80 点以上 良：79～70 点 可：69～60 点 59 点以下（不可）</p>		

授 業 計 画

科目名： 就職対策 I		授業種別： 講義・演習・実習		授業担当者： 下木祐二・宮川登美子	
授業回数： 32回	時間数（単位数）：1回 90分 48時間（2単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修・選択必修		
<p>[授業の到達目標]</p> <p>① 就職活動における必要な知識の習得。 ② ビジネス実務マナー検定2級を習得する。</p> <p>[授業の概要]</p> <p>就職活動に必要な知識を、グループワークを入れながら、各自準備をする。</p>					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	アイスブレイク				講義
2	ビジネスマンとして必要とされる資質、執務要件				講義
3	キャリアシミュレーションプログラム				講義
4	組織の機能（業務分掌、職位・職制、会社の社会的責任）				講義
5	これまでの振り返り				講義
6	訪問（服装、名刺交換）				講義
7	これまでの振り返り				講義
8	来客対応（案内、お茶出し）				講義
9	これまでの振り返り				講義
10	話の仕方と人間関係（敬語、目的に応じた話し方）				講義
11	キャリア・プラン作成補助シート				講義
12	電話対応				講義
13	キャリア・プラン作成補助シート				講義
14	慶事の作法				講義
15	キャリア・プラン作成補助シート				講義
16	弔事の作法				講義
17	ジョブカード記入				講義
18	情報（活動、整理、伝達）				講義
19	ジョブカード記入				講義
20	文書作成				講義
21	自己分析				講義
22	文書取扱				講義
23	自己分析				講義
24	会議				講義
25	自己分析				講義
26	事務機器、事務用品				講義
27	業界・企業研究				講義
28	ビジネス実務マナー検定過去問題演習①				演習
29	業界・企業研究				講義

30	ビジネス実務マナー検定過去問題演習②	演習
31	業界・企業研究	講義
32	ビジネス実務マナー検定過去問題演習③	演習
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>早稲田教育出版 ビジネス実務マナー検定 3級受検ガイド 早稲田教育出版 ビジネス実務マナー検定 2級受検ガイド 早稲田教育出版 ビジネス実務マナー検定 3級実問題集 早稲田教育出版 ビジネス実務マナー検定 1・2級実問題集</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>後期試験における結果</p> <p>優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）</p>		

授 業 計 画

科目名： IT パスポート対策		授業種別： 講義・演習・実習		授業担当者： 下木祐二	
授業回数： 32 回	時間数（単位数）：1 回 90 分 48 時間（2 単位）	配当学年・時期： 1 年 前期・後期	必修・選択必修		
<p>【授業の到達目標】</p> <p>①ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションについての習得</p> <p>②コンピュータの基本的知識の習得</p> <p>③IT パスポート試験対策か</p> <p>【授業の概要】</p> <p>コンピュータの基礎から法務までを学ぶ。（試験対策は別授業にて行う）</p>					
【授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別】					
1	コンピュータの構成要素 CPU とメモリ、記憶媒体、インターフェース	講義			
2	コンピュータの構成要素 ソフトウェア、パッケージ、ソフトの利用	講義			
3	コンピュータの考え方 基数変換、論理演算	講義			
4	コンピュータの考え方 統計の基礎、アルゴリズムとデータ構造	講義			
5	コンピュータの考え方 流れ図、プログラミング言語、	講義			
6	PC を使うために必要技術 ファイル形式の種類、データ処理	講義			
7	PC を使うために必要技術 データベース、設計、操作	講義			
8	PC を使うために必要技術 トランザクション処理、リカバリ機能	講義			
9	コンピュータシステム システムの評価指標、稼働率	講義			
10	コンピュータシステム コンピュータシステムの処理形態	講義			
11	コンピュータシステム コンピュータシステムの障害発生時の対応、費用	講義			
12	ネットワーク ネットワークで使用する機器、通信回線の種類	講義			
13	ネットワーク プロトコル IP アドレス	講義			
14	ネットワーク 転送時間の計算、電子メール	講義			
15	セキュリティ 情報資産とリスク	講義			
16	セキュリティ 情報セキュリティ管理、技術	講義			
17	システム開発 システム開発のプロセス	講義			
18	システム開発 ソフトウェア開発手法	講義			
19	システム開発 ヒューマンインターフェース	講義			
20	システム開発 プロジェクトマネジメント	講義			
21	システム開発 IT サービスマネジメント	講義			
22	システム開発 システム監査	講義			
23	企業と法務 企業活動と経営組織	講義			
24	企業と法務 業務分析と業務計画	講義			
25	企業と法務 会計と財務、種類と役割	講義			
26	企業と法務 法務、知的財産権、セキュリティ関連法規	講義			
27	企業と法務 労働関連法規、標準化	講義			
28	経営戦略 経営戦略手法、分析	講義			
29	経営戦略 マーケティング	講義			

30	経営戦略 ビジネス戦略と目標・評価	講義
31	経営戦略 技術開発の立案・計画、ビジネスシステム	講義
32	経営戦略 システム企画、	講義
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>IT パスポート試験 テキスト&問題集 (実況出版)</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>前期試験における結果</p> <p>優：80 点以上 良：79～70 点 可：69～60 点 59 点以下 (不可)</p>		

授 業 計 画

科目名： 基本情報対策		授業種別： 講義・演習・実習	授業担当者： 下木祐二
授業回数： 64回	時間数（単位数）：1回 90分 96時間（4単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修・選択必修
<p>[授業の到達目標]</p> <p>① 基本情報の基礎的知識を身に付ける</p> <p>② 試験範囲内の広い知識を習得する。</p> <p>③ 出題ジャンルを把握する。</p> <p>[授業の概要]</p> <p>基本情報技術者試験に向けて出題範囲となる知識、技術を身に付ける。</p>			
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]			
1	基礎理論 PCで扱う数、2進数、シフト演算	講義	
2	基礎理論 集合と論理演算、確立と統計	講義	
3	基礎理論 譲歩に関する理論、通信に関する理論	講義	
4	基礎理論 計測・制御に関する理論	講義	
5	基礎理論 データ構造、アルゴリズム、検索のアルゴリズム	講義	
6	基礎理論 文字列処理のアルゴリズム、ファイル処理のアルゴリズム	講義	
7	基礎理論 再帰とプログラミング構造、プログラム言語、マークアップ言語	講義	
8	コンピュータシステム 構成と動作、高速化技術、メモリの特徴と種類	講義	
9	コンピュータシステム メモリシステムと記憶階層	講義	
10	コンピュータシステム 入出力インターフェース、入力装置、補助記憶装置	講義	
11	コンピュータシステム システムの処理形態、構成	講義	
12	コンピュータシステム システムの性能指標、信頼性指標	講義	
13	コンピュータシステム OSの種類と特徴、多重プログラミングと割込み	講義	
14	コンピュータシステム 記憶管理、開発支援ツール、言語ツール	講義	
15	技術要素 ヒューマンインターフェース	講義	
16	技術要素 マルチメディア、技術	講義	
17	技術要素 データベース、設計、操作、処理	講義	
18	技術要素 ネットワーク データ通信と制御。管理	講義	
19	技術要素 ネットワーク 通信プロトコル、IPアドレス、ネットワーク管理	講義	
20	技術要素 セキュリティ 情報セキュリティ	講義	
21	技術要素 セキュリティ 暗号技術、利用者認証	講義	
22	技術要素 セキュリティ 情報セキュリティ対策、実装技術	講義	
23	開発技術 システム開発のプロセス	講義	
24	開発技術 システム開発に用いる図式手法	講義	
25	開発技術 構造設計に用いる図式手法	講義	
26	開発技術 オブジェクト指向設計	講義	
27	開発技術 モジュール設計	講義	
28	開発技術 コーディングとモジュールテスト	講義	
29	開発技術 結合テストと適格性確認テスト	講義	

30	開発技術 ソフトウェア結合、適格性テスト	講義
31	開発技術 システムの受け入れ・保守	講義
32	開発技術 ソフトウェア開発手法、管理	講義
33	プロジェクトマネジメント プロジェクトマネジメントの全体像	講義
34	プロジェクトマネジメント プロジェクトスコープマネジメント	講義
35	プロジェクトマネジメント プロジェクトタイムマネジメント	講義
36	プロジェクトマネジメント プロジェクトコストマネジメント	講義
37	プロジェクトマネジメント プロジェクト品質マネジメント	講義
38	プロジェクトマネジメント 多角的に管理する知識エリア	講義
39	サービスマネジメント サービスマネジメント設計、移行	講義
40	サービスマネジメント サービスの運用、ファシリティマネジメント	講義
41	サービスマネジメント システム監査と内部統制	講義
42	システム戦略 情報システム戦略	講義
43	システム戦略 業務プロセス	講義
44	システム戦略 ソリューションビジネス	講義
45	システム戦略 システム活用促進・評価	講義
46	システム戦略 システム化計画	講義
47	システム戦略 要件定義、調達計画・実施	講義
48	経営戦略 経営戦略・手法	講義
49	経営戦略 経営分析・手法	講義
50	経営戦略 マーケティング	講義
51	経営戦略 ビジネス戦略と目標・評価、経営管理システム	講義
52	経営戦略 技術開発戦略の立案、技術開発計画	講義
53	経営戦略 ビジネスシステム、エンジニアリングシステム	講義
54	経営戦略 e-ビジネス	講義
55	経営戦略 民生機器と産業機器	講義
56	企業と法務 企業活動	講義
57	企業と法務 組織論	講義
58	企業と法務 OR・IE と業務分析	講義
59	企業と法務 品質管理と QC 七つ道具	講義
60	企業と法務 企業会計と財務	講義
61	企業と法務 企業が関わる法務、知的財産権	講義
62	企業と法務 労働関連・取引関連法規	講義
63	企業と法務 セキュリティ関連法規	講義
64	企業と法務 ガイドラインと標準化	講義
[使用テキスト・参考文献] 基本情報技術者 合格教本（技術評論社）		
[単位認定の方法及び基準] 前期・後期試験における結果 優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）		

授 業 計 画

科目名： 高度試験対策		授業種別： 講義・演習・実習		授業担当者： 下木祐二	
授業回数： 16回	時間数（単位数）：1回 90分 24時間（1単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修・選択必修		
<p>[授業の到達目標]</p> <p>①応用技術者試験の概要を習得する</p> <p>②試験に向けての対策</p> <p>[授業の概要]</p> <p>応用技術者試験に向けて概要及び試験内容、範囲を把握しより高度な資格試験に向けた勉強を行う。</p>					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	基礎論理 オートマトン、形式言語				講義
2	基礎論理 フラグ論理、確率と統計				講義
3	アルゴリズムとプログラミング				講義
4	ハードウェアとコンピュータ構成要素 アーキテクチャー、高速化技術				講義
5	システム構成要素 クライアントサーバーシステム、システムの信頼性				講義
6	ソフトウェア タスク管理、記憶管理、言語プロセッサ、UNIX系OS				講義
7	データベース 基礎、関係データベース、正規化、SQL				講義
8	データベース 埋め込み方式、分散データベース、応用				講義
9	ネットワーク 標準化、プロトコル				講義
10	セキュリティ 暗号化、無線LANの暗号、認証				講義
11	セキュリティ 対策、脅威と攻撃手法、デジタル署名				講義
12	システム開発技術 開発プロセス、分析、設計、オブジェクト指向				講義
13	システム開発技術 モジュール設計、テスト、レビュー				講義
14	マネジメント プロジェクト、システム運用、監査				講義
15	ストラテジ システム戦略、経営戦略				講義
16	ストラテジ 経営工学、企業会計、標準化と関連法規				講義
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>応用情報技術者 合格教本（技術評論社）</p>					
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>後期試験における結果</p> <p>優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）</p>					

授 業 計 画

科目名： 情報セキュリティ		授業種別： 講義・演習・実習		授業担当者： 原田暁史	
授業回数： 32回	時間数（単位数）：1回 90分 48時間（2単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修 選択必修		
<p>[授業の到達目標]</p> <p>インターネット社会において情報を取扱うにあたり情報セキュリティの考え方や犯罪、ウイルス等のセキュリティ対策から計画、実施、運用のできる人材の育成。</p> <p>教育現場で取り入れられている経験やノウハウをもとに理解を深め習得する。</p> <p>[授業の概要]</p> <p>PC操作、企業におけるセキュリティ対策を学ぶ。</p>					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	情報セキュリティの考え方 情報セキュリティの必要性				講義
2	情報セキュリティの考え方 譲歩セキュリティとは				講義
3	情報セキュリティの考え方 情報セキュリティの対策、演習問題				講義
4	不正攻撃について ハッカーとクラッカー、ポートスキャン				講義
5	不正攻撃について セキュリティの脆弱性、サイバーテロ				講義
6	不正攻撃について Dos 攻撃、DDoS、トロイの木馬、セキュリティホール				講義
7	不正攻撃について 踏み台について、バックドア				講義
8	不正攻撃について 管理者としての対策、演習問題				講義
9	ウイルスについて 不正プログラムの種類				講義
10	ウイルスについて ウイルスについて、ワームについて				講義
11	ウイルスについて トロイの木馬の実例				講義
12	ウイルスについて 不正プログラムの感染源				講義
13	ウイルスについて ウイルス対策、演習問題				講義
14	ファイアウォール ファイアウォールとは、ファイアウォールの機能				講義
15	ファイアウォール ファイアウォールの構成、演習問題				講義
16	暗号 ネットワークシステムに対する脅威				講義
17	暗号 暗号技術、共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式				講義
18	暗号 暗号の応用、ウェブの暗号化技術 SSL、メール暗号技術				講義
19	暗号 VPN の暗号技術、無線 LAN の暗号技術				講義
20	暗号 演習問題				講義
21	認証 ネットワークに対する脅威、第三者認証、認証技術、演習問題				講義
22	監査 セキュリティ監査、診断、ISD、ログ監視				講義
23	監査 情報漏洩対策ツール、ファイル改ざん検知ツール、演習問題				講義
24	セキュリティポリシ 考え方、策定				講義
25	セキュリティポリシ ISMS、演習問題				講義
26	国際基準・国内基準と関連法規 国際基準、国内基準				講義
27	国際基準・国内基準と関連法規 関連法規、演習問題				講義
28	情報セキュリティ管理者の業務 不正アクセス基準から見た管理者の業務				講義

29	情報セキュリティ管理者の業務 教育と啓発について	講義
30	情報セキュリティ管理者の業務 管理者のもつべき視点、演習問題	講義
31	演習問題まとめ1	講義
32	演習問題まとめ2	講義
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>情報セキュリティ標準テキスト (オーム社)</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>前期・後期試験における結果</p> <p>優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）</p>		

授 業 計 画

科目名： アプリ開発	授業種別： 講義・演習・実習	授業担当者： 今村彰則
---------------	-------------------	----------------

授業回数： 64回	時間数（単位数）：1回 90分 96時間（4単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修・選択必修
--------------	------------------------------	----------------------	---------

[授業の到達目標]

- ① ロボットの理解
- ② LEGO ロボットの組立、走行
- ③ 開発環境の構築
- ④ 各センサーに対するプログラムの理解と取得
- ⑤ ET ロボコンでの走行

[授業の概要]

ET ロボコンを使用し、プログラムを組み込み制御を行う。言語をはじめセンサー類の取扱いもマスターする。

[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]

1	ロボット概論	講義
2	LEGO ロボットの仕組み、各種センサーとその動き	講義
3	LEGO ロボット組立 1	実習
4	LEGO ロボット組立 2	実習
5	OS 概論、組込みシステム開発とは	講義
6	開発環境の構築 Cygwin、GCC ARM、U-Boot	講義
7	開発環境構築 Cygwin、GCC ARM、U-Boot インストール	実習
8	LEGO ロボット基礎 モータ制御	講義
9	LEGO ロボット基礎 モータ制御	実習
10	LEGO ロボット基礎 モータ制御	実習
11	LEGO ロボット基礎 タッチセンサ制御	講義
12	LEGO ロボット基礎 タッチセンサ制御	実習
13	LEGO ロボット基礎 タッチセンサ制御	実習
14	LEGO ロボット基礎 超音波センサ制御	講義
15	LEGO ロボット基礎 超音波センサ制御	実習
16	LEGO ロボット基礎 超音波センサ制御	実習
17	LEGO ロボット基礎 カラーセンサ制御	講義
18	LEGO ロボット基礎 カラーセンサ制御	実習
19	LEGO ロボット基礎 カラーセンサ制御	実習
20	LEGO ロボット基礎 ジャイロセンサ制御	講義
21	LEGO ロボット基礎 ジャイロセンサ制御	実習
22	LEGO ロボット基礎 ジャイロセンサ制御	実習
23	LEGO ロボット基礎 ディスプレイの表示	講義
24	LEGO ロボット基礎 ディスプレイの表示	実習
25	LEGO ロボット基礎 ディスプレイの表示	実習
26	LEGO ロボット応用 直線を走行する	講義

27	LEGO ロボット応用	直線を走行する	実習
28	LEGO ロボット応用	直線を走行する	実習
29	LEGO ロボット応用	カーブを走行する	講義
30	LEGO ロボット応用	カーブを走行する	実習
31	LEGO ロボット応用	カーブを走行する	実習
32	LEGO ロボット応用	ルックアップゲート	講義
33	LEGO ロボット応用	ルックアップゲート	実習
34	LEGO ロボット応用	ルックアップゲート	実習
35	LEGO ロボット応用	階段	講義
36	LEGO ロボット応用	階段	実習
37	LEGO ロボット応用	階段	実習
38	LEGO ロボット応用	駐車場	講義
39	LEGO ロボット応用	駐車場	実習
40	LEGO ロボット応用	駐車場	実習
41	LEGO ロボット応用	縦列駐車場	講義
42	LEGO ロボット応用	縦列駐車場	実習
43	LEGO ロボット応用	縦列駐車場	実習
44	開発環境の構築	LeJOS、JAVA	講義
45	開発環境構築	LeJOS、JAVA インストール	実習
46	LEGO ロボット基礎	モータ制御 (JAVA)	講義
47	LEGO ロボット基礎	モータ制御 (JAVA)	実習
48	LEGO ロボット基礎	モータ制御 (JAVA)	実習
49	LEGO ロボット基礎	タッチセンサ制御 (JAVA)	講義
50	LEGO ロボット基礎	タッチセンサ制御 (JAVA)	実習
51	LEGO ロボット基礎	タッチセンサ制御 (JAVA)	実習
52	LEGO ロボット基礎	超音波センサ制御 (JAVA)	講義
53	LEGO ロボット基礎	超音波センサ制御 (JAVA)	実習
54	LEGO ロボット基礎	超音波センサ制御 (JAVA)	実習
55	LEGO ロボット基礎	カラーセンサ制御 (JAVA)	講義
56	LEGO ロボット基礎	カラーセンサ制御 (JAVA)	実習
57	LEGO ロボット基礎	カラーセンサ制御 (JAVA)	実習
58	LEGO ロボット基礎	ジャイロセンサ制御 (JAVA)	講義
59	LEGO ロボット基礎	ジャイロセンサ制御 (JAVA)	実習
60	LEGO ロボット基礎	ジャイロセンサ制御 (JAVA)	実習
61	LEGO ロボット基礎	ディスプレイの表示 (JAVA)	講義
62	LEGO ロボット基礎	ディスプレイの表示 (JAVA)	実習
63	LEGO ロボット基礎	ディスプレイの表示 (JAVA)	実習
64	LEGO ロボット	まとめ	講義

[使用テキスト・参考文献]

実践ロボットプログラミング

教育版 EV3C 言語プログラミングガイド

[単位認定の方法及び基準]

ET ロボコン出場し走行する、2020 年 ET ロボコンプログラミング作成と提出

優：80 点以上 良：79～70 点 可：69～60 点 59 点以下（不可）

授 業 計 画

科目名： コンテンツ実習		授業種別： 講義・演習・実習		授業担当者： 今村彰則	
授業回数： 32回	時間数（単位数）：1回 90分 48時間（2単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修・選択必修		
[授業の到達目標]					
① コンテンツの理解と習得 ② モデリングの理解と習得 ③ オブジェクトの概念の理解と取得 ④ クラス図など UML ダイアグラムの理解と取得、作成 ⑤ ETロボコン 過去のモデル図の理解と 2019年モデル図作成					
[授業の概要]					
UML、オブジェクト、モデル図を理解し作成を行う。					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	コンテンツの基礎 UMLとは				講義
2	コンテンツの基礎 オブジェクトとは				講義
3	コンテンツの基礎 UML概要とダイアグラム作成				実習
4	モデルの基礎 モデルと類型				講義
5	モデルの基礎 UMLによるダイアグラム				講義
6	モデルの基礎 3つのモデルとUMLのダイアグラム作成				実習
7	オブジェクトの基礎 認識の対象				講義
8	オブジェクトの基礎 状態とは				講義
9	オブジェクトの基礎 責務とオブジェクト図作成				実習
10	クラスの基礎 クラスとは				講義
11	クラスの基礎 クラスとインスタンス				講義
12	クラスの基礎 クラスとオブジェクトの抽象概念				講義
13	クラス図の作成 オブジェクト図との関係				講義
14	クラス図の作成 補足				講義
15	UMLダイアグラムの作成 1				実習
16	UMLダイアグラムと作成 2				実習
17	ETロボコン過去のモデル分析 要件定義				講義
18	ETロボコン過去のモデル分析 機能				講義
19	ETロボコン過去のモデル分析 構造				講義
20	ETロボコン過去のモデル分析 ふるまい				講義
21	ETロボコン過去のモデル分析 工夫点				講義
22	ETロボコン モデル図作成 要件定義 作成				実習
23	ETロボコン モデル図作成 要件定義 作成				実習
24	ETロボコン モデル図作成 機能 作成				実習
25	ETロボコン モデル図作成 機能 作成				実習
26	ETロボコン モデル図作成 構造 作成				実習
27	ETロボコン モデル図作成 構造 作成				実習

28	ETロボコン モデル図作成 ふるまい 作成	実習
29	ETロボコン モデル図作成 ふるまい 作成	実習
30	ETロボコン 表彰モデル図分析と考察1	実習
31	ETロボコン 表彰モデル図分析と考察2	実習
32	ETロボコン 表彰モデル図分析と考察3	実習
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>ゼロからわかる UML 入門</p> <p>ET ロボコン 2018 モデル図</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>ET ロボコンモデル図作成と提出、2020 年 ET ロボコンモデル図雛形作成と提出</p> <p>優：80 点以上 良：79～70 点 可：69～60 点 59 点以下（不可）</p>		

授 業 計 画

科目名： Web デザイン演習		授業種別： 講義 ・演習・ 実習		授業担当者： 下木祐二	
授業回数： 32 回	時間数（単位数）：1 回 90 分 48 時間（2 単位）	配当学年・時期： 1 年 前期 ・ 後期	必修 ・選択必修		
[授業の到達目標]					
① Web デザインの基本・アーキテクチャについての習得。					
② Web クリエイター能力認定試験エキスパートの合格。					
[授業の概要]					
1 年の Web デザインでの HTML5・CSS3 の復習後、Web デザインの基本・アーキテクチャについて学習し、試験対策を行う。					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	Web クリエイター能力認定試験スタンダード模擬問題				実習
2	Web クリエイター能力認定試験スタンダード模擬問題				実習
3	Web クリエイター能力認定試験スタンダードサンプル問題				実習
4	Web クリエイター能力認定試験スタンダードサンプル問題				実習
5	Web デザインの基本				講義
6	Web デザインの基本				講義
7	Web デザインの基本				講義
8	Web デザインの基本				講義
9	Web デザインのアーキテクチャ				講義
10	Web デザインのアーキテクチャ				講義
11	Web デザインのアーキテクチャ				講義
12	Web デザインのアーキテクチャ				講義
13	Web デザインコンテンツ制作				実習
14	Web デザインコンテンツ制作				実習
15	Web デザインコンテンツ制作				実習
16	Web デザインコンテンツ制作				実習
17	Web クリエイター能力認定試験エキスパートサンプル問題				実習
18	Web クリエイター能力認定試験エキスパートサンプル問題				実習
19	Web クリエイター能力認定試験エキスパートサンプル問題				実習
20	Web クリエイター能力認定試験エキスパートサンプル問題				実習
21	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 1				実習
22	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 1				実習
23	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 1				実習
24	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 1				実習
25	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 2				実習
26	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 2				実習
27	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 2				実習
28	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 2				実習

29	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 3	実習
30	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 3	実習
31	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 3	実習
32	Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集模擬問題 3	実習
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>Web クリエイターのためのベーシックデザイン</p> <p>Web クリエイター能力認定試験エキスパート問題集</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>前期・後期試験における結果</p> <p>優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）</p>		

授 業 計 画

科目名： プレゼンテーション演習		授業種別： 講義 ・ 演習 ・ 実習		授業担当者： 下木祐二	
授業回数： 32回	時間数（単位数）：1回 90分 48時間（2単位）	配当学年・時期： 1年 前期・ 後期		必修 ・ 選択必修	
[授業の到達目標]					
① プレゼンテーションについての習得。					
② プレゼンテーション資料作成ソフトの基本操作等の習得。					
[授業の概要]					
プレゼンテーションとはについて、資料作成のためのソフト（PowerPoint）の操作習得等を学習する。最後に、各自テーマにそった発表を行う。					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	プレゼンテーションの基本				実習
2	プレゼンテーションの基本				実習
3	プレゼンテーションの作成				実習
4	プレゼンテーションの作成				実習
5	プレゼンテーションの作成				実習
6	訴求力のある slide 作成の基本				実習
7	訴求力のある slide 作成の基本				実習
8	訴求力のある slide 作成の基本				実習
9	訴求力のあるスライドの作成				実習
10	訴求力のあるスライドの作成				実習
11	訴求力のあるスライドの作成				実習
12	紙面づくりの基本				実習
13	紙面づくりの基本				実習
14	紙面づくりの基本				実習
15	瓦版の作成				実習
16	瓦版の作成				実習
17	瓦版の作成				実習
18	カタログ冊子の作成				実習
19	カタログ冊子の作成				実習
20	カタログ冊子の作成				実習
21	オートデモの作成				実習
22	オートデモの作成				実習
23	オートデモの作成				実習
24	総合問題 1・2				実習
25	総合問題 3・4				実習
26	総合問題 5				実習
27	テーマに沿った発表資料作成				実習
28	テーマに沿った発表資料作成				実習

29	テーマに沿った発表資料作成	実習
30	テーマに沿った発表資料作成	実習
31	テーマに沿った発表(リハーサル・本番)	実習
32	テーマに沿った発表(リハーサル・本番)	実習
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>PowerPoint2013 ビジネス活用編</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>後期試験における結果</p> <p>優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）</p>		

授 業 計 画

科目名： ゼミナール		授業種別： 講義・演習・実習		授業担当者： 原田暁史	
授業回数： 80回	時間数（単位数）：1回 90分 120時間（5単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修・選択必修		
[授業の到達目標]					
①卒業研究に向けての立案、計画、作成まで					
②自ら各卒業研究に取り組み成果物を作成する					
③卒業研究は1月に学校全体での発表を行い評価する					
[授業の概要]					
自分のテーマに沿った卒業論文の作成を行う。					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	卒業研究について 卒業研究の概要、作成方法等の説明				講義
2	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
3	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
4	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
5	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
6	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
7	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
8	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
9	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
10	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
11	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
12	卒業研究に向けての内容、計画準備 作成する研究内容をまとめる				実習
13	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
14	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
15	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
16	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
17	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
18	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
19	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
20	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
21	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
22	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
23	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
24	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
25	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
26	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
27	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
28	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習
29	卒業研究作成、各自研究に取り組む				実習

30	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
31	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
32	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
33	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
34	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
35	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
36	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
37	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
38	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
39	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
40	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
41	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
42	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
43	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
44	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
45	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
46	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
47	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
48	途中経過提出 内容確認、作成における違反がないかをチェック	講義
49	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
50	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
51	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
52	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
53	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
54	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
55	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
56	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
57	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
58	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
59	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
60	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
61	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
62	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
63	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
64	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
65	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
66	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
67	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
68	卒業研究作成、各自研究に取り組む	実習
69	途中経過内容確認	講義
70	発表用プレゼン資料作成	実習
71	発表用プレゼン資料作成	実習
72	発表用プレゼン資料作成	実習

73	発表用プレゼン資料作成	実習
74	発表用プレゼン資料作成	実習
75	発表用プレゼン資料作成	実習
76	発表用プレゼン資料作成	実習
77	卒業研究発表会リハーサル	実習
78	卒業研究発表会リハーサル	実習
79	卒業研究発表会リハーサル	実習
80	卒魚研究発表会	講義
<p>[使用テキスト・参考文献] 特になし</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準] 卒業研究内容と発表における評価</p> <p>優：80点以上 良：79～70点 可：69～60点 59点以下（不可）</p>		

授 業 計 画

科目名： インターネット資格検定		授業種別： 講義・演習・実習	授業担当者： 原田暁史
授業回数： 48回	時間数（単位数）：1回 90分 72時間（3単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期	必修・選択必修
<p>【授業の到達目標】</p> <p>①ネットワークの基本知識の習得 ②ネットワークの技術、規格の知識を習得 ③トラブル発生時の切り分けの知識、と対応の習得 ④インターネット検定.comMaster 資格試験</p> <p>【授業の概要】</p> <p>インターネット通信からトラブル、セキュリティまでを習得し理解する。 .comMaster 試験を目指す。</p>			
【授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別】			
1	インターネットの基礎知識 インターネットの歴史と構成要素	講義	
2	インターネット通信関連技術 プロトコル、LAN の技術、転送技術	講義	
3	アプリケーション関連技術 サーバ、ドメイン名、名前解決	講義	
4	アプリケーション関連技術 メール配信技術、WWW,その他のアプリケーション	講義	
5	インターネット接続機器 アクセス回線と通信機器、接続規格	講義	
6	インターネット接続機器 ネットワーク接続端末、OS、目的別	講義	
7	インターネットの接続の技術と設定 アクセス回線、家庭内 LAN	講義	
8	インターネットの接続の技術と設定 IPv4 から IPv6 への移行手順と注意点	講義	
9	インターネットサービスプロバイダー ISP の種類と契約	講義	
10	インターネットサービスプロバイダー IP 電話オプション、ISP サポート	講義	
11	インターネット利用に関するトラブル トラブル原因の切り分けと対処	講義	
12	インターネット利用に関するトラブル 端末におけるトラブルシューティング	講義	
13	インターネット利用に関するトラブル 宅内通信機器のトラブルシューティング	講義	
14	WWW ブラウザとは、基礎知識、設定と利用	講義	
15	WWW 応用、Web ブラウザのトラブルと対処	講義	
16	電子メール メールサービス、便利な機能、メールのトラブルと対処	講義	
17	クラウドコンピューティング クラウドとは、基礎知識	講義	
18	クラウドコンピューティング クラウドサービスの利用、トラブル	講義	
19	IoT IoT システムの概要、システムの構成技術	講義	
20	IoT IoT におけるセキュリティ	講義	
21	人工知能 人工知能とは、人工知能の発展	講義	
22	セキュリティ セキュリティとは、暗号化技術	講義	
23	端末利用時の脅威と対策 不正利用、情報盗難の防止	講義	
24	端末利用時の脅威と対策 マルウェアや不正アクセスへの対策	講義	
25	LAN 利用時の脅威と対策 無線 LAN の不正利用	講義	
26	インターネット利用時の脅威と対策 インターネットの危険性、Web の安全な利用	講義	
27	インターネット利用時の脅威と対策 メール の安全な利用、迷惑メール、リスク	講義	

28	ICT の活用と法律 情報検索、ソーシャルサービス、映像等の利用	講義
29	ICT の活用と法律 IoT の活用事例、AI の活用	講義
30	ICT の活用と法律 インターネットに関する法律、個人情報、知的財産保護	講義
31	問題+まとめ インターネットの仕組みと関連技術 1	演習
32	問題+まとめ インターネット接続の設定とトラブル対処 1	演習
33	問題+まとめ インターネット接続の設定とトラブル対処 2	演習
34	問題+まとめ アプリケーションの設定と使いこなし 1	演習
35	問題+まとめ アプリケーションの設定と使いこなし 2	演習
36	問題+まとめ セキュリティ 1	演習
37	問題+まとめ セキュリティ 2	演習
38	問題+まとめ サービスの利用と法律 1	演習
39	問題+まとめ インターネット通信関連技術 1	演習
40	問題+まとめ インターネット通信関連技術 2	演習
41	問題+まとめ アプリケーション関連技術 1	演習
42	問題+まとめ インターネット接続の技術 (IPv6) 1	演習
43	問題+まとめ クラウドサービスの設定と使いこなし 1	演習
44	問題+まとめ 端末利用時の脅威とその対策 1	演習
45	問題+まとめ インターネット利用時の脅威とその対策 1	演習
46	問題+まとめ インターネットに関する法律とマナー 1	演習
47	模擬問題 1	演習
48	模擬問題 2	演習
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>インターネット検定公式テキスト.com Master (NTT コミュニケーションズ)</p> <p>完全対策 インターネット検定 問題+総まとめ (NTT 出版)</p>		
<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>前期・後期試験における結果</p> <p>優：80 点以上 良：79～70 点 可：69～60 点 59 点以下 (不可)</p>		

授 業 計 画

科目名： 情報処理検定		授業種別： 講義・演習・実習		授業担当者： 原田暁史	
授業回数： 48回	時間数（単位数）：1回 90分 72時間（3単位）	配当学年・時期： 1年 前期・後期		必修・選択必修	
<p>[授業の到達目標]</p> <p>①基本情報技術者試験午後の対策・理解 ②選択問題の確認 ③問題を読む、説く力を身に付ける</p> <p>[授業の概要]</p> <p>基本情報技術者試験における午後の対策を行い、得意となる分野を見出し力を入れる。また、総合的に解けるようになる。</p>					
[授業日程と各回のテーマ・内容・授業種別]					
1	情報セキュリティ1			演習	
2	譲歩セキュリティ2			演習	
3	譲歩セキュリティ3			演習	
4	ハードウェア1			演習	
5	ハードウェア2			演習	
6	ハードウェア3			演習	
7	ハードウェア4			演習	
8	ハードウェア5			演習	
9	ソフトウェア1			演習	
10	ソフトウェア2			演習	
11	ソフトウェア3			演習	
12	ソフトウェア4			演習	
13	ソフトウェア5			演習	
14	データベース1			演習	
15	データベース2			演習	
16	データベース3			演習	
17	データベース4				
18	データベース5				
19	データベース6				
20	データベース7				
21	ネットワーク1				
22	ネットワーク2				
23	ネットワーク3				
24	ネットワーク4				
25	ネットワーク5				
26	ネットワーク6				
27	ソフトウェア設計1				
28	ソフトウェア設計2				

29	ソフトウェア設計 3	
30	ソフトウェア設計 4	
31	ソフトウェア設計 5	
32	マネジメント 1	
33	マネジメント 2	
34	マネジメント 3	
35	ストラテジ 1	
36	ストラテジ 2	
37	ストラテジ 3	
38	ストラテジ 4	
39	ストラテジ 5	
40	アルゴリズム 1	
41	アルゴリズム 2	
42	アルゴリズム 3	
43	アルゴリズム 4	
44	アルゴリズム 5	
45	アルゴリズム 6	
46	模擬問題 1	
47	模擬問題 2	
48	模擬問題 3	
[使用テキスト・参考文献] 基本情報技術者 試験によく出る問題集〈午後〉 (技術評論社)		
[単位認定の方法及び基準] 前期・後期試験における結果 優 : 80 点以上 良 : 79~70 点 可 : 69~60 点 59 点以下 (不可)		